



基本から学ぶ! 税務調査対策セミナー

10月 > 4月 全日程同内容

A-1 10:00-11:20 / A-2 13:30-14:50

石垣貴久税理士事務所 所長 石垣 貴久氏

税務調査という言葉は、それだけで私たちの心を非常に不安にさせますが、インボイス・電子帳簿保存制度が始まったこともあり、税務調査への不安をより強く感じている方も多いのではないのでしょうか。

本セミナーでは、経営者様や経理担当者様にそれらの不安を払拭していただくために、**税務調査とはどのようなものか、何を事前準備すればよいのか**といった基本的事項、**調査当日の対応方法などを、インボイス・電子帳簿保存制度を踏まえつつ、実例を交えながら解説**します。

OBCからは、インボイス制度や電帳法の要件に沿って、証憑の収集から仕訳起票、支払処理などの一連の流れを自動化できる経理DX Suite(勘定奉行クラウド)をご紹介します。

＼こちらの製品をご紹介します！／



## 開催日時

10/24 木 11/13 水 12/9 月  
1/9 木 2/19 水 3/11 火 4/17 木

A-1 10:00-11:20 A-2 13:30-14:50

## 講師

石垣貴久税理士事務所 所長  
**石垣 貴久氏**

税理士・社会保険労務士



## アジェンダ

- ①税務調査の全体像
  - ・統計からみる税務調査の状況
  - ・税務調査の分類
  - ・税務調査の対象になる会社
- ②税務調査の流れと事前準備
  - ・税務調査の大まかな流れ
  - ・事前準備
- ③調査当日の対応とケース別対応策
  - ・調査当日の対応
  - ・こんなときは・・・



## 税務調査とは？



国税庁が管轄する税務署などが、納税者から提出された申告内容が正確かどうかを確認する調査のことです。法人税や所得税など多くの税金は、納税者が自ら税額を計算して申告・納付する「申告納付制度」が採用されています。税務の計算ミスや虚偽の申告を防止・確認を目的に税務調査が行われています。

## コロナ後の税務調査は？

### 調査件数の増加

コロナ禍で一時的に減少していた税務調査が、最近では再び増加しています。この傾向はこれからも続くと考えられ、ますます実地調査の件数は増えていくと予想されます。

また、コロナ禍では対面での調査が制限されていましたが、現在は対面調査が再開されています。また、書面やオンラインでの調査も引き続き行われています。



## どんな企業が税務調査の対象になる？

税務署は、調査対象を絞り込んで効率的に調査を行っています。決まったルールはなく、調査官個人の判断による部分が大いようですが、以下が調査の対象になりやすいようです。

- ◆決算数値に異常な項目がある
- ◆KSKシステムの評価が低い  
※KSKシステム…国税総合管理システムのこと。  
納税者の過去の申告状況や納税情報を一元管理したもの
- ◆投書情報(タレコミ)

など

## ターゲット

部門 : 経営者・経理部門  
業種 : 全業種  
立場 : 経営者、経理責任者・担当者  
資本金 : 指定無し  
年商 : 指定無し  
社員数 : 指定なし

#税務調査

#経理業務DX

#電子帳簿保存

#インボイス

電帳法やインボイス制度により、適切に電子データを保存しているか、適格請求書を正しく保存しているかなども確認されます。日ごろからこれらのポイントを押さえて、システム化することで手間なく確実に対応しておくことが求められます。



## 集客トーク

対象:経営者・経理担当者

税務調査に入られたことがありますか？

税務調査の話題に触れることがポイント！  
どの企業も税務調査に関心があるはず

Yes

調査に入られた方は必ずお悩みがあるはずです！

正しい対策やポイントを知っておきたい！という場合は、是非本セミナーをご案内ください。

入れたけどばっちりだった！という場合であっても…。

最近では、電子帳簿保存法とインボイス導入がスタートし制度改正の遵守が、税務調査対策のポイントとなるそうです。遵守したもののクラウドやソフトなど、別々のサービスを導入したため、連携されず逆に手間となって現場の負担が増える“落とし穴”に落ちている企業も多いそうですよ。

No

大半がNoになる  
と思われます

税務調査の対策はされていますか？

OBCで税務調査のオンラインセミナーが開催されます。調査の流れ、よく狙われる業界、正しい対策について、専門家が解説してくれるそうです。最近では、電子帳簿保存法やインボイス対応準備もポイントになるそうですよ。